

令和4年度森林環境教育指導者養成講座 講座だより

第5号（9月発行）



【第4回講師の村上友和氏】

9月3日(土)に富士宮市にある富士山麓の国有林内のフィールドを舞台に、第4回目の講座である「教材としての森林」を実施しました。講師は株式会社自然教育研究センターの村上友和氏です。富士山麓の天然林や人工林を歩き、様々な体験プログラムを楽しみながら学びを深めました。

今回のフィールドは住友林業株式会社がボランティア活動を行っている「富士山まなびの森」で、フォレストアークという建物を中心に講座を行いました。前半は五感を使ったプログラムや、葉っぱを使ったゲームなどを体験しました。途中、森の中で昼食を食べ、森林を満喫しました。またセンサーカメラで撮影した動物の動画を見るなど新しい伝え方も体験しました。



【体験プログラムの様子】



【振り返りの講義の様子】

後半はフォレストアークに戻り、振り返りを行いました。体験プログラムの中で講師が工夫をしていた点や、受講者が気づいた点などを見つめ直し、互いに共有を行いました。受講者からは「ゲームを通して、参加者が自然と観察する仕掛けになっていた」「一見関係が無さそうなそれぞれの体験が、実は同じメッセージでつながっていて感動した」という感想がありました。

＜発行元＞

静岡県暮らし・環境部環境局環境ふれあい課 自然ふれあい班
電話:054-221-2848 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp